

元栗橋新田地区で「かがり火」が行われました

1月15日の夕方、元栗橋新田地区で「かがり火」が行われ、新田地区の約110世帯の方々が参加しました。

このかがり火は、元栗橋新田地区にある「新成会」の主催で行われ、次世代に伝統文化を伝えたいと始めてから、今年で6回目を迎えました。

本年は、昨年のががり火に比べ、倍に増やした稲わらと、竹でやぐらが組みあげられ、大きな炎が舞いあがりました。

そして、各世帯から、しめ縄や熊手、破魔矢などを持ち寄って焼き、その火で繭玉だんごや餅を焼いて食べ、無病息災を願いました。



親と子のふれあい劇場が開催されました



2月5日、中央公民館講堂において、青少年相談員協議会・子ども会育成会主催の親と子のふれあい劇場が開催されました。

今年度は、劇団トマト座による「冒険西遊記」が上演され、約150名の親子が、鑑賞しました。

この音楽劇は、暴れん坊の猿の大王孫悟空と、豚の妖怪猪八戒、河の妖怪沙悟浄が、三蔵法師と供に天竺を目指す、愛と勇気の物語です。

低学年でも理解しやすい内容と、テレビや映画などとは違う迫力に、子どもたちは物語の世界に引き込まれているようでした。

歌やダンスで躍動感あふれる舞台を観て、親子で楽しいひと時を過ごすことができました。

文化庁主催事業「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」が開催されました

2月1日、五霞中学校において日本フィルハーモニー交響楽団による公演が行われました。

この事業は舞台芸術を鑑賞し、芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養うことを目的としています。

公演では、ベートーベンの交響曲第5番「運命」やドヴォルザークの交響曲第9番「新世界から」より第4楽章等、計7曲が演奏されました。また、楽器の紹介では演奏者が誰でも聞いたことのある曲を即興で演奏し、楽しく学ぶことができました。

最後に五霞中学校の校歌を楽団の伴奏により全員で合唱し、オーケストラを身近に体験することができました。



普通救命講習会が開催されました



1月31日、保健センターにおいて、五霞町健康づくり協力員と町民の方々を対象に救命講習会が開催されました。

救命講習会では、心肺蘇生法とAEDの使用方法についての説明があり、実際に人形や練習用AEDを使って演習を行いました。

約3時間の講習でしたが、参加者は熱心に取り組み、心肺蘇生法やAEDの扱い方を習得しました。